



事業団やまぐち

Vol. 84
2011.8

~その人らしさを大切に~

新理事長あいさつ

心をひとつに！

理事長 大窪 正行



本年四月、山口県社会福祉事業団の理事長に就任しました大窪で

す。改めて、よろしくお願いいたします。

私は、常日頃から、福祉の仕事には、「自信と誇りと笑顔」が大切だと思っています。利用者のケアや自立支援等に、プロとしての「自信」をもって取り組みましょう。また、利用者の自己実現を援助し尊厳を守る事に携わっていることに「誇り」を感じることに。さらに「笑顔」には人を幸せにする力があります。…このような職員姿勢は、必ずや利用者さんの「自信」と「誇り」と「笑顔」につながっていくものと確信しています。

さて、我が事業団は、昭和四十七年五月の創設以来、三十九年が経過しました。今年の秋には、灘

海園の愛宕山への移転改築工事がスタートします。また、これまでの特養・障害六施設等に加え、知的障害児施設「山口県このみ園」(県が改築整備中)が、来年四月に当事業団に移管される事が検討されています。さらに伊保庄園での通所介護など在宅サービスの拡充の取組も目白押しです。

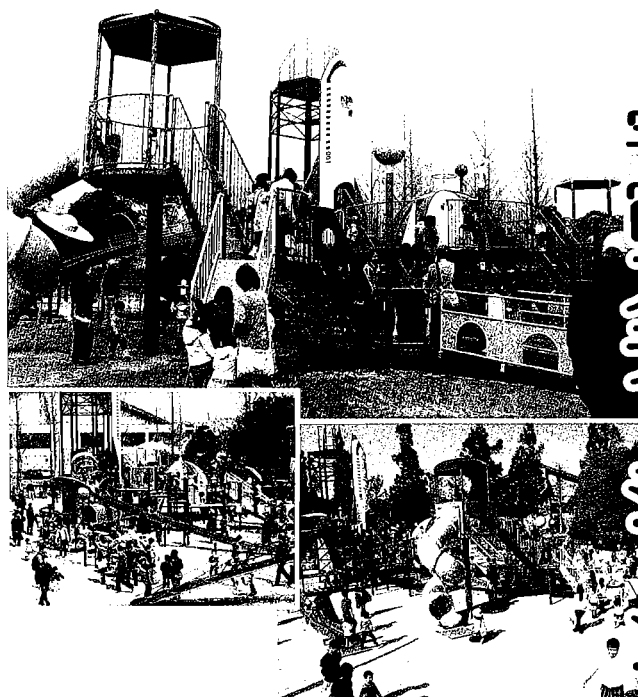
こうした状況を考えると、まさに事業団の歴史始まって以来の大転換期といっても過言ではありません。真の意味での「自立経営」が求められています。役・職員が一丸となって、事業団の新しい歴史を創っていくようではありませんか。

今、日本国中の人々が、この度の震災に日々想いを馳せ、一日も早い復興を願い、様々な支援に取り組んでいます。

キーワードは、「心をひとつに！」…共に頑張りましょう。

ちよるるの行こう！

宇宙ステーション



児童センターの大型遊具が今年三月、十数年ぶりにリニューアルされました。

子ども達の想像力とチャレンジ精神を掻き立てる「宇宙基地」をモチーフにした複合遊具で、ローラーすべり台、ロープウエー、幼児用ブランコなど親子で楽しめるアイテムがいっぱいです。

週末には子ども達のあふれんばかりの歓声で賑わっています。

ロケットの先端には国体のマスコットキャラクターの「ちよるる」が子ども達をやさしく見守っています。センターでも子ども達が安心、安全に遊べるよう見守っていきたいと思います。

また、六月十九日からプラネタリウム番組は「さようならスペースシャトル」を投影しています。ぜひ、センターへ遊びに来てください。

児童センター 伊藤 汎

施設からのたより

花の香りに包まれて



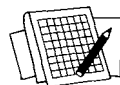
五月に入り、新緑の色が鮮やかに感じられる季節になりました。利用者さんが花瓶の花を見ながら「花が好きなんよ」と言われた言葉を聞いて、初夏を花で感じて頂こうと、やまぐちフラワーランドを散策することになりました。

庭園内に入り皆さんの目にとまったのは、ゴンドラに花を乗せた花車でした。「きれいだね」とゴンドラをじっと見上げ、気に入られたようでした。花を見ながら、名前を知らない時には、声に出して読み楽しむ姿や、美しい花壇から漂う花の香りに包まれて、リラックサされている姿に私たちも和みました。帰りの道中では、「手入れがよくしてあったね。最高の一日だったよ」と言っておられる方もおられ、これからも四季を感じられる外出を計画して、気分をリフレッシュして頂きたいと思います。

伊保庄園
神岡 美貴

「食事教室」

～施設の機能を地域に発信～



施設の食事…。食材の選別、対象者に合ったメニュー作成、仕入れから始まり、調理スタッフにより食事形態別に調理し盛りつけ、介護スタッフの手で利用者さんの元へ…。そして利用者さんの口まで運ばれます。施設では、そこまで辿り着くのに、何人もの手（多くの職種）が関わっています。

今回の教室は、その一部を灘地区の皆さんに紹介しました。

当日の昼食メニューを食事形態別（並食・ミンチ食・極ミンチ食・ミキサー食・ソフト食）に紹介し、当園で利用している栄養補助食品と、栄養補助食品を利用した灘海園オリジナルプリンを紹介と試食を、ドラッグストアでも手に入る食べやすさに配慮したユニバーサルデザインの食品等の紹介も交えてお話しさせていただきました。

私自身、人前で話すのは苦手で、とても緊張して始まった施設の食事教室ですが、試食タイムに入ると、その場も和み、色々な意見や質問が飛び交いました。やっぱり！食べ物ってすごい！

ご家庭で介護されている方、されていた方…。私自身もお話を聞くことができ、大変勉強になりました。看護主任による食事姿勢の説明では、生活相談員がモニターとなり、食事介助のデモンストラーションが行われました。参加された皆さんも和気あいあいと参加されて、満足のいく内容であったと思います。

施設の食事



を紹介するというのは初めての試みでしたが、私が思っていた以上の参加者があり、人間が生きていく上で「食」は大きな力を持っていると改めて感じました。

そして、私たち専門職はもともと地域に発信していかないとけないと感じました。

松原 美穂
灘海園

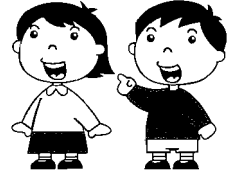


施設からのたより

園児にとつて販売の経験は初めてということもあり、最初は緊張して戸惑っていましたが、次第に「手作りの製品はいかがですか?」「おあいですよう!」と元気な声が出るようになりました。販売した製品はお客様にも高評価をいただき、子どもたちも笑顔いっぱい接客ができた。



大内の集い



四月二十四日、地域で開催された大内の集いに園児の代表十二名が参加しました。大内の集いでは、ちびばな園の利用者の方が作成された陶器や木工製品などを販売させていた

できました。園児にとつて販売の経験は初めてということもあり、最初は緊張して戸惑っていましたが、次第に「手作りの製品はいかがですか?」「おあいですよう!」と元気な声が出るようになりました。販売した製品はお客様にも高評価をいただき、子どもたちも笑顔いっぱい接客ができた。

園児にとつて販売の経験は初めてということもあり、最初は緊張して戸惑っていましたが、次第に「手作りの製品はいかがですか?」「おあいですよう!」と元気な声が出るようになりました。販売した製品はお客様にも高評価をいただき、子どもたちも笑顔いっぱい接客ができた。

みほり学園
植木 詩乃

四月十六日、「山口マンドリンアンサンブル(代表・瀬村前事業団常務理事)」の皆さんがボランティアで来園され、マンドリンとギターによる生演奏を披露されました。

マンドリン奏者九名、ギター奏者四名の本格的な演奏に、いつもの生活空間がまるで音楽ホールに生まれ変わったように、霧閉気に包まれ、利用者の皆さん一人ひとりが、見事な演奏に聴き惚れていました。特に、ギターの演奏の「禁じられた遊び」には、全員がうっとり聴き入り、マンドリンの「青い山脈」では、歌声と手拍子で大盛り上がり。利用者さんから、「生演奏は迫力があって、すごい、

美しいマンドリンの調べ



「マンドリン演奏は初めて。本当に良かった」など、喜びの感想が口々に聞かれ、とても感動されていました。春の麗かな陽ざしの中に美しい音色が響き、利用者の皆さんに、このころ安らかなひと時を過ごしていただくことができました。

華南園
永田 雅巳



ありがとう 笑顔で結ぶ 福祉の駅

「こんにちは、ありがとうございます。」
国道沿いの小さな売店ではこんな笑顔の交流が広がっています。

ここは、ちびばな園「福祉の駅」。平成十七年、地域との交流と利用者さんの販売実習を目的として設置されました。

小さな店舗ですが、季節の野菜や花の苗、ユニークな木製鍋敷き、一輪挿し、箸置など、利用者さんが丹精込めて作られた品物が



所狭しと並んでいました。

「たくさんのお客さんに来てもらい、私たちが作った野菜やみかんを食べてもらえると嬉しいです。」

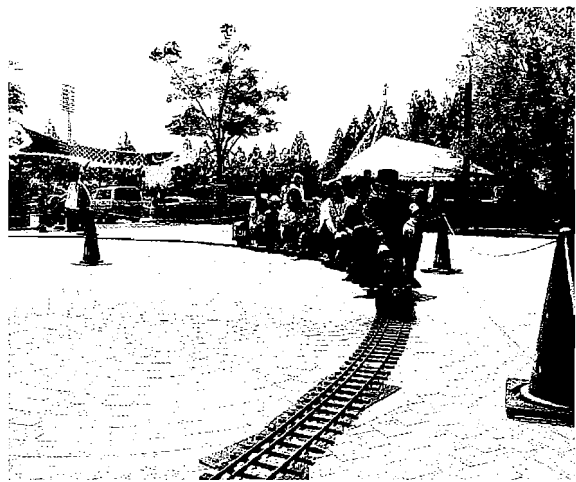
販売実習をされていた利用者さんが笑顔で答えてくださいます。

販売や作業を通じた地域の皆さんとの交流の輪が更に大きく広がりますよう、これからもちびばな園福祉の駅、たくさんの方のご来店を心よりお待ちしております。

ちびばな園
七寶 宏

施設からのたより

ミニSLは大人気!



五月五日こどもの日、毎年多数の来館者でにぎわい、みんなが笑顔になる「こども青空わいわい広場」の日がやって来ました。

今年の目玉は何と言っても「やまぐちSLファンの集い」のお二人によるミニSLコーナー。

実際に石炭を使い、本物ながらにモクモクと蒸気が出るミニSLに、子どもたちの目はもう釘付け!開始前から長蛇の列ができていました。

乗車時は切符を切つてもらって大満足! 「煙がすごい!かっこいい!」「進め進め!」SLからニコニコ手を振る子どもたちにお父さんお母さんもカメラを構えてさあシャッターチャンス!

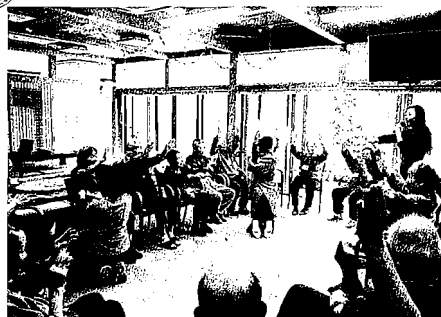
「思ったより速かった!」「石炭が燃えて走るんじゃないね!」「もっと乗りたい!」会場では子どもたちの元気な声が続いていました。

また児童センターに来てもらおうね!

山口県児童センター
時藤 政士

ヨガ? ナマステ? あっはっは!

「笑いヨガ」とも呼ばれ、笑いの練習と呼吸法を組み合わせたこの健康法を、県内を中心に広める活動をされている講師(わいわい山口ラフタークラブ代表・平山英子先生)が萩市在住と知り、「百聞は一見に如かず」とばかりにすぐに連絡を来園していただけた事となりました。



「ほっほ、はっは」という掛け声は腹式呼吸のリズム。それに合わせて笑顔で「イエーイ」と声を出す。このような簡単な内容から笑う練習を始めます。するとびっくり。会場が笑い声で満ち溢れ、利用者も職員もみんながニコニコしているではありませんか。気づけば「炭坑節」に合わせ、巧みな腰使いで何故か「安来節」を踊る職員まで現れて会場は大爆笑。やっぱり笑うって凄いと実感しました。

あなたも一度、「笑いヨガ」を試してみませんか? 笑いの力で、明日が変わるかも(笑)

オアシスはぎ園 (GH)
福島 有貴



ロータリークラブとの

交流会

五月、華の浦学園の畑には、利用者さんの楽しみのために植えられた苺が真っ赤に色付いていました。

そうした中で、毎年行われる「ロータリークラブとの交流会」があり、それに地元の誠英高校の生徒も大勢参加してくださいました。私は今まで勤務の都合で参加する事ができず、今回が初参加でした。



この交流会で、ロータリークラブの方々(約二十人)が、利用者さん全員の昼食のお弁当とお茶、ジュースを持って来てくださり、また、誠英高校の生徒さんは手作りのお菓子箱(牛乳パックで作成)に沢山のお菓子玩具を入れて、利用者さんにプレゼントしてくださいました。

そして、車椅子体験、全員での歌演奏などでの利用者さんとの交流がありました。

この交流会の中で私が印象に残ったのは、ロータリークラブの一人の男性が『○○君は歌が好きだから、僕達の歌演奏でも喜んでくれるんだ』『○○ちゃん!身長伸びたね!』と話しかけておられたことです。利用者さんの成長を見守っていて下さることに、大変感謝しました。

これからも、このような地域の方々とのふれあいの場を大切にしていきたいと思えます。

華の浦学園
渡辺 貴和子

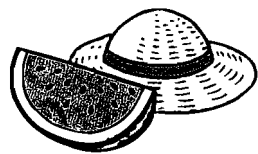
障害3施設の今後の取り組み



「児童デイサービスセンター 華の浦学園」稼働開始！

何事もそうですが、新しいことを始めるといふことは、楽しいことではあります。新事業として開設した「児童デイサービスセンター 華の浦学園」も例外ではありません。定員は十名で、現在の契約者は三名という現状です。

要因は様々です。日中一時支援に比べ、負担額が高いことや、サービス提供終了時間が早い等の時間的な問題、市内に同業者が四カ所あり、当事業所が一番新しく参入したこと、まだまだPRが足りない等、挙げればきりがありません。児童デイサービスの使命は障がいのある子ども一人一人に応じた「療育」を提供することにあります。例え三名の契約でも当事業所を利用していただく方々との出会いを大切にして信頼を得られるよう質の高い療育の提供を肝に銘じながら精進していきたいと思えます。



児童デイサービスセンター 華の浦学園
サービス管理責任者 俵 尚利

地域福祉の拠点を目指して

— 華南園 —

平成二十三年度から、在宅障がい者の熱い要望もあって、生活介護サービス枠を拡充（五十名を五十五名に）しました。新たに在宅の八名の方が契約され、四～五月には平均三・六名の方が利用されています。利用者や家族の方からは、受入れや嚔下状態を配慮した食事支援等で感謝されています。

また、一人でも多くの利用者の方にご満足いただけるよう音楽療法を増やすなど工夫を加えながら、日常生活の支援や健康状態の確認等に取り組んでいます。

一方、地域福祉の拠点づくりの一環として、指定相談支援事業所の開設に向け十月を目途に準備を進めています。

また、当該事業所を通じて、障がい者の介護、生活等についての困りごと等の助言・相談に応えらるとともに、在宅障がい者との関係を一層深めながら、潜在的ニーズの的確な把握に努め、利用者の立場に立った良質な福祉サービスの提供に繋がってきたいと考えています。

また、一人でも多くの利用者の方にご満足いただけるよう音楽療法を増やすなど工夫を加えながら、日常生活の支援や健康状態の確認等に取り組んでいます。

また、当該事業所を通じて、障がい者の介護、生活等についての困りごと等の助言・相談に応えらるとともに、在宅障がい者との関係を一層深めながら、潜在的ニーズの的確な把握に努め、利用者の立場に立った良質な福祉サービスの提供に繋がってきたいと考えています。

また、一人でも多くの利用者の方にご満足いただけるよう音楽療法を増やすなど工夫を加えながら、日常生活の支援や健康状態の確認等に取り組んでいます。



障害3施設の今後の取り組み

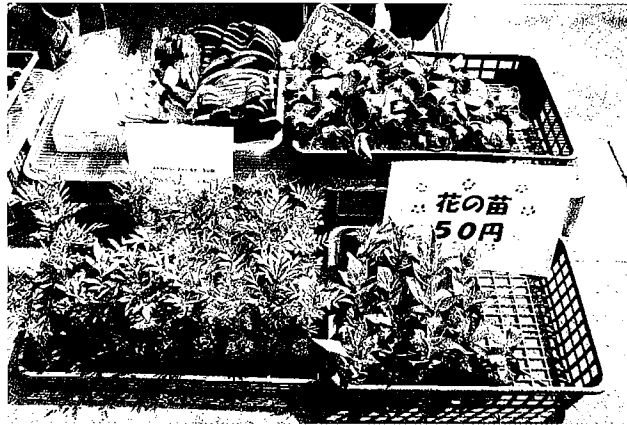
事業団移管後の
取り組みについて

— たちばな園 —

平成二十三年度は、障害者三施設が県から事業団に移管され、自立経営に向けた大きな変革となる年である。

たちばな園も基本的には給付費と利用料金で施設運営がなされることから、常に収支状況に目配りをするとともに更なる経費の削減に努めていく。

また、当面、日中一時支援事業や相談支援事業を推進しながら収入の確保に努め、中長期的にはグループホーム等新規事業への取り組みを検討していく。当園が移管された後



も地域の福祉拠点として、柳井圏域・周防大島町の関係機関等と連携しながら各種事業を強力に推進し、地域のニーズと期待に添えていくこととしている。たちばな園総務課長 久保 照男

二つの

シコウサクゴ

— 華の浦学園 —

華の浦学園は、ねむの木学園（静岡県）や四天王寺太子学園（大阪府）に続き、全国三番目の肢体不自由児養護施設として昭和四十七年に開設された。

本学園が防府の地に建設されたのは、塩田跡地という広大な土地があったことに加え、県立防府養護学校（現県立防府総合支援学校）の教育支援と県立中央病院（現県立総合医療センター）の医療的ケアが期待できる三つの理由によるものであった。（事業団二十年史より）

途中、昭和五十年には、教室棟（分教室）を建設。昭和五十四年は、肢体不自由児養護施設から肢体不自由児療護施設に施設種別を変更して現在に至っている。

本学園にとって、開

設当初から平成十八年までの措置制度を第一ステージとするならば、平成十八年から平成二十三年三月までの契約制度や指定管理制度が第二ステージ、そして、いよいよ平成二十三年四月からは、「事業団への移管（民営化）」という第三ステージに移行した。

そうした中で、まずもってやるべきことは、「利用児（者）主体」のサービスにしっかりと磨きをかけることだ。具体的には、県社会福祉協議会の三回目の第三者評価を受審し、サービスの品質を担保することとしている。

併せて、家計と同じで、「収入は一円でも多く、支出は一円でも少なく」をモットーとしながら経営財源を確保していくことも必要

だ。

このように、「サービスの品質と経営」という二兎を追う必要があることから、この第三ステージは、いまだかつて経験したことのない非常に困難なステージになることが予想される。

「兎」といえば、平成二十三年は、卯（兎）年だ。近所の長老から聞いた話だが、卯の方向は東、卯の月は四月、卯の刻は六時頃、すなわち「卯」は「夜明け」を意味する字だ

そうだ。くよくよしても始まらない。平成二十三年を「学園の夜明けの年」と位置づけていく。転ぶにしても一歩前に進んで転ぶ「プラスワン」の気概をもち、兎のような大きな耳で必要な情報をしっかりとキャッチしながら、二つの「シコウサクゴ（思考錯誤と試行錯誤）」を駆使しながら、職員と一体となつて、新しい学園を創造していきたい。

華の浦学園園長

松田 啓示



昭和47年開設当初の華の浦学園

第三十一回職員互助会球技大会

灘海園が優勝!!

毎年恒例の職員互助会球技大会が、平成二十三年六月十八日(土)みほり学園の体育館で開催されました。

今年は、四連覇中のみほり学園に対し「打倒!みほり!!」を胸に各施設で練習を積んできました。

各チームが熱戦を繰り広げる中、みほり学園は順当に勝ち進み準決勝進出。対戦相手は灘海園。セットカウント2-1で灘海園が勝利!決勝戦へ。

決勝戦は、灘海園とたちばな園が、フルセットの白熱した戦いを繰り広げました。

勝利した灘海園は、四連覇中のみほり学園を破ったことで喜びも大きく、『広報なだみ』の号外版が出るほどでした。

新任職員もベテラン職員も応援団もが一丸となって戦い、得点を

決めた時、ミスした時に、声をかけ合うチームワークの良さが印象に残りました。

試合を重ねるたび、「老体にムチ打って」と息の上がった声が飛び交いはじめ、体調を心配しましたが、今大会では怪我人もなく、大会委員長(大窪理事長)をはじめ、副会長(中川介護員)、事務局職員もホッと胸を撫で下ろしました。

来年は、どの施設に優勝トロフィーが渡るのか、灘海園が守り抜くのか!?



【成績】

優勝

高台移転チーム (灘海園)

準優勝

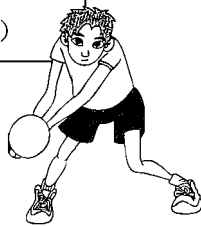
大島夢ほっぺチーム (たちばな園)

三位

じらくりチーム (みほり学園)

敗者復活戦優勝

よいどれチーム (華の浦学園)



理事会・評議員会報告

三月、五月に開催された理事会・評議員会で承認、了承された議案等の一部を報告します。

評議員会 (三月二十四日開催)

【議案】

「理事の選任について」等

理事会 (三月二十五日開催)

【議案】

「障害三施設の移管等について」

「平成二十三年度事業計画について」

「平成二十三年度予算について」

「定款の一部変更について」等

「理事長の選任について (平成二十三年四月一日就任)」

(新) 大窪 正行

(旧) 路 英朗

評議員会 (五月二十日開催)

理事会 (五月二十三日開催)

【議案】

「平成二十二年度事業報告について」

「平成二十二年度決算の認定について」

「定款の一部変更について」

「苦情解決第三者委員の選任について」等

○苦情解決第三者委員の選任について

各施設

小田 推子 (灘海園) 岩金 俊充 (伊保庄園)

末若 巖 (オアシスはぎ園) 角田 和芳 (たちばな園)

宮川恵美子 (華南園) 十楽 直樹 (華の浦学園)

高田 晃 (みほり学園) 加藤 健志 (児童センター)

全施設 藤屋 靖夫、原田 典子

○報告事項

東北大震災への対応状況について

当事業団からは、華の浦学園の長安健三主任が派遣され、知的障害児の支援にあたりました。

平成二十三年度事業計画

当事業団は、「その人らしさを大切に」という基本理念の下、利用者との立場に立った「選ばれる施設づくり」

○地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」

○自立経営を目指す「経営の基盤づくり」

「経営の基盤づくり」の三つを基本目標に、利用者の立場に立った質の高いサービスの提供とこれを担う人材の育成、さらには効率的な施設運営に組織をあげて取り組むこととされています。

「選ばれる施設づくり」については、利用者本位の質の高いサービスの提供し、サービスの自己評価、第三者評価を通して、サービスの質の向上に努めるとともに、事故防止や感染症対策に万全を期し、利用者の安全・安心の確保に努めます。

「地域とともに歩む施設づくり」については、在宅の高齢者や障害者への在宅サービス提供体制の充実、相談支援機能の推進を図るため、新たに、「灘海園居宅介護支援事業所」「伊保庄園通所介護（介護予防通所介護を含む）事業所」「華南園指定相談支援事業所及び生活介護サービス定員枠の拡大」「華の浦学園児童デイサービスの（II型）」の在宅サービスの取り組みを拡充します。

「経営の基盤づくり」については、今後の事業団経営を確立する上で最も重要な目標であり、特に、灘海園の移転改築は、事業団にとって初めての新型特養の建設工事に着手となり、建設資金のうち自己資金はもとより借入金確保と円滑な建設工事の進行管理に努めます。

なお、今後の事業団

特養のモデルとなることから、早急に組織運営体制を構築し、ユニットケアの具体的な実践に向けて、重点的に取り組むこととします。

障害者（児）三施設については、自立経営に移行することに伴い、給付費、措置費収入及び利用者負担金など収入の範囲内でサービスが提供できるよう経営体制の確立に努めます。

「山口県このみ園」については、県から事業団への移管が表明されており、平成二十四年度の移管に向けて、譲渡・運営方法等について県と協議・調整を進めます。

さらに、中期経営計画の課題を着実に実施していくとともに、成果を確認し、改善、充実させ、計画策定後に生じた新たな課題に対しても、積極果敢にチャレンジしていくこととします。

平成23年度予算（一般会計）

収入

(単位：千円)

	今年度の額	前年度の額	差 額
介護福祉施設介護料収入	982,864	975,259	7,605
居宅介護料収入	221,316	213,725	7,591
居宅介護支援介護料収入	17,104	12,982	4,122
利用者等利用料収入	214,078	214,749	▲ 671
その他の事業収入	7,847	7,602	245
自立支援費等収入	636,914	51	636,863
措置費収入	38,710	0	38,710
運営費収入	1,694	1,694	0
受託事業収入	189,312	871,999	▲ 682,687
負担金収入	95,685	92,043	3,642
経常経費補助金収入	110,443	140,859	▲ 30,416
寄付金収入	710	710	0
雑収入	7,016	7,460	▲ 444
経理区分間繰入金収入	861,959	728,898	133,061
施設整備等補助金収入	118,080	385,153	▲ 267,073
積立預金取崩収入	770,907	834,254	▲ 63,347
その他の収入	21,472	7,035	14,437
合 計 ①	4,296,111	4,494,473	▲ 198,362

支出

(単位：千円)

	今年度の額	前年度の額	差 額
人件費支出	1,680,576	1,625,209	55,367
事務費支出	153,978	155,795	▲ 1,817
事業費支出	447,401	442,611	4,790
負担金支出	69,186	64,374	4,812
利用者負担軽減額	168	160	8
経理区分間繰入金支出	861,959	728,898	133,061
固定資産取得支出	798,841	860,322	▲ 61,481
積立預金積立支出	225,708	416,555	▲ 190,847
全事協掛金預け金支出	9,307	9,767	▲ 460
徴収不能金	0	150	▲ 150
予備費	24,000	15,000	9,000
合 計 ②	4,271,124	4,318,841	▲ 47,717

当期資金収支差額 ③ = ① - ②	24,987	175,632	▲ 150,645
前期末支払資金残高 ④	438,033	392,456	45,577
当期末支払資金残高 ⑤ = ③ + ④	463,020	568,088	▲ 105,068

平成22年度決算(一般会計)

(1) 資金収支計算書

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
経常収入	3,387,374,000	3,404,014,823	▲ 16,640,823
経常支出	3,094,807,000	3,054,466,643	40,340,357
経常活動資金収支差額 ①	292,567,000	349,548,180	▲ 56,981,180
施設整備収入	352,030,000	352,815,600	▲ 785,600
施設整備支出	680,242,000	679,097,147	1,144,853
施設整備資金収支差額 ②	▲ 328,212,000	▲ 326,281,547	▲ 1,930,453
財務活動収入	727,815,000	727,883,356	▲ 68,356
財務活動支出	683,768,000	689,867,933	▲ 6,099,933
財務活動資金収支差額 ③	44,047,000	38,015,423	6,031,577
当期資金収支差額合計 ④ = ① + ② + ③	8,402,000	61,282,056	▲ 52,880,056
前期末支払資金残高 ⑤	429,631,000	429,631,778	▲ 778
当期末支払資金残高 ④ + ⑤	438,033,000	490,913,834	▲ 52,880,834

(2) 事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目	本年度決算額	前年度決算額	増 減
事業活動収入	2,760,073,439	2,763,014,681	▲ 2,941,242
事業活動支出	2,475,177,128	2,447,419,258	27,757,870
事業活動収支差額 ①	284,896,311	315,595,423	▲ 30,699,112
事業活動外収入	906,838,204	236,021,636	670,816,568
事業活動外支出	905,253,410	232,198,250	673,055,160
事業活動外収支差額 ②	1,584,794	3,823,386	▲ 2,238,592
経常収支差額 ③ = ① + ②	286,481,105	319,418,809	▲ 32,937,704
特別収入	352,815,600	8,027,000	344,788,600
特別支出	351,854,034	5,050,451	346,803,583
特別収支差額 ④	961,566	2,976,549	▲ 2,014,983
当期活動収支差額 ⑤ = ③ + ④	287,442,671	322,395,358	▲ 34,952,687
前期繰越活動収支差額 ⑥	993,320,413	907,186,164	86,134,249
当期末繰越活動収支差額 ⑦ = ⑤ + ⑥	1,280,763,084	1,229,581,522	51,181,562
基本金取崩額 ⑧	0	0	0
修繕積立金取崩額 ⑨	10,994,500	0	10,994,500
特別積立金取崩額 ⑩	488,637,204	0	488,637,204
減価償却特別積立金取崩額 ⑪	0	0	0
修繕積立金積立額 ⑫	82,365,107	63,958,799	18,406,308
特別積立金積立額 ⑬	360,113,000	172,302,310	187,810,690
減価償却特別積立金積立額 ⑭	0	0	0
次期繰越活動収支差額 ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ - ⑫ - ⑬ - ⑭	1,337,916,681	993,320,413	344,596,268

(3) 貸借対照表

(単位:円)

科 目	本年度決算額	前年度決算額	増 減
流動資産	656,903,197	551,082,801	105,820,396
固定資産	2,822,501,974	2,281,561,349	540,940,625
資産の部合計	3,479,405,171	2,832,644,150	646,761,021
流動負債	165,989,363	121,451,023	44,538,340
固定負債	347,161,309	330,236,969	16,924,340
純資産	2,966,254,499	2,380,956,158	585,298,341
〔うち次期繰越活動収支差額〕	1,337,916,681	993,320,413	344,596,268
〔当期活動収支差額合計〕	344,596,268	86,134,249	258,462,019
負債及び純資産の部合計	3,479,405,171	2,832,644,150	646,761,021

平成23年度 **新任職員紹介**



伊保庄園
看護師
木村 正美

伊保庄園に配属された木村です。これまでの経験を生かしながら、また新たにいろいろなことを学びながら、頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。(平成23年2月1日採用)



灘海園
介護員
永見 肇

4月から新任職員として灘海園で働かせていただひています。永見と申します。介護現場の経験は少なく、何かと皆様にご迷惑をおかけしてはありますが、日々成長できるように一生懸命頑張りますので、よろしくお祈ひします。



灘海園
介護員
岡村祐次郎

勤め始めて1ヶ月が経ち、少しずつですが、仕事になれてきました。まだまだ不安な事や分からない事も多いですが、先輩職員のお支えや、利用者のお笑顔に励まされ、頑張っています。どうぞよろしくお祈ひします。



灘海園
介護員
突貫 光正

4月から介護職員として一生懸命頑張っています。利用者様や先輩職員に支えられながら、日々勉強させていただひています。福祉に関わる人間として、私も人を支えることのできる人材になりたいと思ひています。よろしくお祈ひ致します。



灘海園
介護員
山根 彰夫

灘海園で働き始めて1ヶ月が過ぎました。まだまだ覚えなければいけないことが多く、毎日苦戦しております。1日も早く皆さんの戦力になれるように頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈ひします。



伊保庄園
栄養士
田代 倫子

4月より、栄養士として働いております。利用者様に、安全で美味しい食事をお出ししていきたいと思ひております。そして、利用者様が笑顔で食事をさせていただけるように努めていきたいと思ひます。



オアシスはぎ園
介護員
杉山 哲夫

私は、44歳で事業団に就職しました。業務の中で、多くの経験や気付きがあります。それを活かして、利用者にお喜ばれるサービスができる介護職員を目指します。趣味は旅行で、秋の見島・相島に行きたいと思ひています。



オアシスはぎ園
介護員
田中 恵子

特別養護老人ホームオアシスはぎ園に配属された田中と申します。特養での仕事は初めてなので毎日奮闘しています。早く仕事を覚えて利用者の方に安心して生活して頂けるよう、笑顔で頑張りたいと思ひます。



オアシスはぎ園
介護員
秋枝 竹美

6年間の嘱託職員を経て、4月より正規職員としてお世話になることになりました。心機一転、初心に戻り、また、これまでの経験を生かせる介護が出来るように頑張りたいと思ひます。よろしくお祈ひします。



オアシスはぎ園
介護員
田坂 直也

配属されてから2ヶ月、毎日が新たな体験の連続で、本当にあっという間に過ぎていきました。まだまだ、知識も技術も未熟ですが、毎日笑顔で精一杯頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。



華南園
生活支援員
和崎 伸二

この度、事業団職員になりました。新しいことの連続で戸惑う事も多いですが、その反面、学ぶ事も多く毎日が新鮮です。初心を忘れず、一步一步大切に歩み、利用者の方々がお安心して幸せな日々が送れるよう支援します。



華南園
生活支援員
吉野 歩

この春より華南園に配属となりました。新社会人としてのスタートとの事で、まだまだ拙い所が多くありますが、少しでも利用者の方のお役に立てるように頑張っていきたいと思ひます。



みほり学園
保育士
鮎川 昇

今年度、新規採用になりました鮎川です。利用者一人ひとりの個性を尊重し、利用者のニーズを多角的な視点で捉え、他職員と連携し、総合的な支援を行います。元気いっぱい頑張ります。



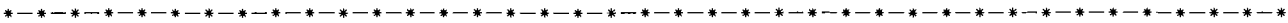
華の浦学園
栄養士
廣中 麻未

私にとって最高の幸せは、おいしいものを食べることです。利用者の皆様にもたくさんの幸せを感じていただけるよう、一生懸命頑張りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。（平成23年6月1日採用）



華の浦学園
保育士
岡本 尚子

モットーは「笑顔に優る化粧無し」と「花よりも花を咲かせる土になれ」です。主役は利用者の方々。お一人お一人のその人らしさを大切に、幸せの実現のお手伝いが出来るよう、スキルと人間力磨きに努めたいです。（平成23年7月1日採用）



人事異動のお知らせ

【退職者】（平成23年3月31日付け）

事務局 灘海園 灘海園 灘海園 伊保庄園 伊保庄園 伊保庄園 オアシスはぎ園 オアシスはぎ園 オアシスはぎ園 オアシスはぎ園	常務理事兼事務局長 主任 主任介護員 介護員 主任栄養士 主任支援専門員 園長 課長 介護員 介護員	瀬村 則夫 國時 了子 濱中 和子 坪井 恵子 増野 貴美恵 西光 芳江 中村 真一郎 神本 和明 木村 和正 小中 隆司 藤本 加南子	オアシスはぎ園 たちばな園 華南園 華南園 華南園 華南園 華の浦学園 華の浦学園 みほり学園 みほり学園	看護師 主任 主任 主任 調理員 課長 栄養士 園長 心理治療担当リーダー 児童指導員	梅田 宏子 高瀬 信子 倉増 英生 秋山 麗子 桐田 康隆 津山 澄子 藤村 幹夫 原田 彩秀 多田 夫 鳥井 恭順 神下 真由美
--	---	--	--	--	---

【採用】（平成23年2月1日付け）

伊保庄園 看護師 木村 正美

（平成23年4月1日付け）

灘海園 灘海園 灘海園 灘海園 灘海園 伊保庄 オアシスはぎ園	介護員 介護員 介護員 介護員 介護員 栄養士 介護員	則政 賢太郎 永見 肇 岡村 祐次郎 突貫 光正 山根 彰夫 田代 倫子 杉山 哲夫	オアシスはぎ園 オアシスはぎ園 オアシスはぎ園 華南園 華南園 みほり学園	介護員 介護員 介護員 生活支援員 生活支援員 保育士	田中 恵子 秋枝 美也 坂直 伸 和崎 二歩 野伸 昇 鮎川
---	---	--	--	--	---

【異動】（平成23年4月1日付け）

— 新 —

— 旧 —

【園長級】 ・事務局兼経営第一課長 ・事務局次長兼企画第二課長 ・オアシスはぎ園長	(事務局次長兼経営第一課長) (事務局企画第二課長) (伊保庄園副園長)	緒方 健一 西 公男 上杉 賢
【課長級】 ・事務局経営第二課長 ・事務局経営第一課主査 ・灘海園介護サービス課主査 ・伊保庄園総務課長 ・伊保庄園介護サービス課長 ・伊保庄園介護サービス課主査 兼生活相談員兼デイサービス準備担当 ・オアシスはぎ園総務課長 ・華南園総務課長 ・華の浦学園総務課長 ・華の浦学園支援サービス課長 ・みほり学園指導課主査	(事務局経営第二課主査) (事務局企画第一課主任) (灘海園介護サービス課主任) (伊保庄園サービス課長) (灘海園介護サービス課主任) (事務局経営第一課主任) (華南園総務課長) (事務局経営第二課長) (華の浦学園支援サービス課長) (華の浦学園支援サービス課主任) (山口県ひとづくり財団業援助)	渡邊 佳子 山崎 美子 大崎 聖美 丸林 稔夫 岩重 好恵 松原 聡志 山本 昌一 島本 芳江 村田 育子 岡村 久美子 栗屋 久美子

— 新 —

— 旧 —

【主任級】

- ・山口県ひとつくり財団業務援助
- ・山口県ひとつくり財団業務援助
- ・伊保庄園介護サービス課主任兼生活相談員
- ・伊保庄園介護サービス課主任
- ・オアシスはぎ園総務課主任
- ・オアシスはぎ園居宅介護支援事業所管理者
- ・オアシスはぎ園介護サービス課主任
- ・たちばな園支援サービス課主任
- ・たちばな園支援サービス課主任
- ・華南園支援サービス課主任
- ・華南園支援サービス課主任
- ・華の浦学園支援サービス課主任
- ・華の浦学園児童デイサービスセンター管理者
- ・みほり学園指導課主任

- (オアシスはぎ園デイサービスセンター管理者)
- (みほり学園指導課主任)
- (伊保庄園介護サービス課主任)
- (灘海園介護サービス課介護員)
- (オアシスはぎ園総務課主任兼養士)
- (オアシスはぎ園介護サービス課主任)
- (オアシスはぎ園介護サービス課介護員)
- (伊保庄園介護サービス課主任兼生活相談員)
- (オアシスはぎ園総務課主任)
- (華の浦学園支援サービス課主任)
- (華の浦学園支援サービス課児童指導員)
- (たちばな園支援サービス課主任)
- (華の浦学園支援サービス課主任)
- (みほり学園指導課保育士)

- 宮路 聡子
- 石丸 奈津子
- 藤川 義幸
- 森永 慶子
- 三好 由子
- 吉田 和敬
- 種子 早苗
- 近藤 榮伸
- 高津 収
- 渡邊 由美子
- 永田 雅巳
- 長安 健三
- 俵 尚利
- 花岡 博子

【一般職】

- ・事務局経営第一課主事
- ・事務局経営第二課主事
- ・灘海園介護サービス課生活相談員
- ・伊保庄園介護サービス課介護員
- ・伊保庄園居宅介護支援事業所管理者
- ・オアシスはぎ園総務課主事
- ・オアシスはぎ園介護サービス課介護員
- ・オアシスはぎ園デイサービスセンター管理者
- ・オアシスはぎ園介護サービス課看護師
- ・華の浦学園総務課調理員兼華南園総務課調理員
- ・華の浦学園児童デイサービスセンター児童指導員
- ・みほり学園指導課児童指導員
- ・みほり学園指導課保育士
- ・児童センター児童厚生員

- (オアシスはぎ園居宅介護支援事業所管理者)
- (華南園支援サービス課生活支援員)
- (灘海園介護サービス課介護員)
- (みほり学園指導課児童指導員)
- (伊保庄園介護サービス課介護員)
- (オアシスはぎ園介護サービス課介護員)
- (山口県ひとつくり財団業務援助)
- (オアシスはぎ園
デイサービスセンター生活相談員兼介護員)
- (オアシスはぎ園介護サービス課介護員)
- (華の浦学園総務課調理員)
- (華の浦学園支援サービス課児童指導員)
- (華南園支援サービス課生活支援員)
- (児童センター子ども育成課児童厚生員)
- (華南園支援サービス課生活支援員)

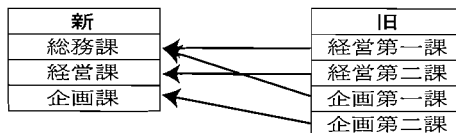
- 伊藤 直也
- 伊藤 裕美
- 東 由紀枝
- 中川 周治
- 脇村 敦子
- 倉益 啓
- 濱田 龍
- 黒瀬 丈義
- 小野 幸子
- 岩見 玲子
- 佐々木 裕子
- 高木 由紀江
- 織田 敦子
- 林 玲子

【再雇用】 (平成23年4月1日付け)

- みほり学園長 多田 秀夫
- 華南園総務課調理員 藤津 澄子

・組織規程の一部改正について

6月1日より事務局が
四課から三課体制に
変わりました。



【異動】 (平成23年6月1日付け)

— 新 —

— 旧 —

- ・事務局長
- ・事務局次長兼企画課長
- ・総務課長
- ・経営課長
- ・総務課主査
- ・経営課主査
- ・企画課主査
- ・企画課主事
- ・総務課主事
- ・経営課主事

- (事務局長兼経営第一課長)
- (事務局次長兼企画第二課長)
- (企画第一課長)
- (経営第二課長)
- (経営第一課主査)
- (経営第二課主査)
- (企画第二課主査)
- (企画第二課主事)
- (経営第一課主事)
- (経営第二課主事)

- 緒方 健一
- 西 公男
- 古谷 公三
- 渡邊 佳子
- 山崎 美子
- 若崎 隆夫
- 境田 次治
- 寺道 一輝
- 伊藤 直也
- 伊藤 裕美

【採用】 (平成23年6月1日付け)

- 華の浦学園 栄養士 廣中 麻未

【採用】 (平成23年7月1日付け)

- 華の浦学園 保育士 岡本 尚子

【退職】 (平成23年6月22日付け)

- 灘海園 介護員 則政賢太郎

【退職】 (平成23年7月31日付け)

- 華南園 看護師 松尾美代子